

授業料等を不徴収とする部局間学生交流協定校への交換留学生募集要項
〔大学院生〕

1. 応募資格

- ① 経済学研究科の正規課程に在籍する者
(応募する前に修了に向けた学修計画について、指導教員と検討しておくこと※)
- ② 留学期間が1学期以上1年以内の者
- ③ 休学することなく留学する者で、経済学研究科長の推薦を受けた者
- ④ 留学先大学の応募資格を有する者
(注) 本学の授業料を納めることで、留学先での授業料等は徴収されない。

※指導教員のいない修士課程高度専門人材養成プログラムの学生が交換留学を希望する場合は、修了に必要な単位を1回生時に概ね取得した上で、2回生時に留学することを推奨します。2年間で修了を希望する場合は、留学先で「修士論文ワークショップ」に互換できる科目を取得し、留学期間中、「修士論文ワークショップ」担当教員にメール等で修論の相談を依頼してください。また、1月後半に「修士論文ワークショップ」において実施される修士論文発表までに帰国してください。手続きについての詳細は、交換留学先決定後に通知します。

2. 募集人数

各協定校が定める募集人数内

3. 募集締切日及び書類提出先

次年度秋学期出発分：協定校リストの赤字学期以降の参加

2022年1月11日(火) — 1月31日(月) 午後1時(13:00) 受信分まで

〈今回の募集は応募申請および必要書類の提出をメールで受け付けます。

教務掛へのメールはKUMOI アドレスを使用してください。個人の私用アドレスから発信されると迷惑メール扱いとなる可能性が高いのでご注意ください。〉

メールタイトル：部局間交換留学 応募申請

メール本文：氏名・学生番号・指導教員名を明記すること

Email:kyoumu@econ.kyoto-u.ac.jp

※コロナ禍の影響により、今回の募集手続きについては以下の点にご注意ください※
協定校リストは、2021年12月時点での情報です。コロナ禍の影響を受け、今後、受入の中止、受入人数やアカデミックカレンダーの変更、また日本国政府の渡航制限が続行されれば現地への派遣を許可できないことを了承したうえで応募してください。

さらに応募時点で、必ず保護者の同意も得ておいてください。

4. 応募書類

- ① 申請書（様式 2-1）
- ② 留学志望理由及び留学先での研究計画（様式 2-2）
- ③ 語学力を証明する公的な書類（2020 年 3 月 1 日以降に受験したもの）

経済学研究科では次のとおり、交換留学に必要な語学力レベルを定めています。

*TOEFL/iBT 80 以上 *IELTS 6.5 以上

（協定校それぞれの語学要件はありますが、経済学研究科では上記レベルを基準としていますので、スコア未達の方は大学院掛に相談してください）

【提出方法】

－ETS か JSAF から送付された原本を持っている場合は、それを提出してください。

募集期間終了後に返却する予定です。

－TOEFL/iBT か IELTS の受験者用控えスコアレポートを PDF ファイルにし、メールに添付する方法で提出し、公式スコアを本学へ送付する手続きもしてください。

【TOEFL iBT®テスト】

公式スコアレポート（Institutional Score Report）を ETS（Educational Testing Service）から本学に直接送付する手続きを取ってください。送付手続きの際の送付先のコード（Institution Code）は「9501（京都大学）」です。「9501」が指定されていれば、別に求められる Department Code はどのように指定されていても構いません。

【IELTS】

下記の URL を参考にして、成績証明書を本学へ送付する手続きを取ってください。

<https://jsaf-ieltsjapan.com/ielts/grades/>

本学の送付先

担当者名: Foreign Student Division

教育機関名、担当部署: Kyoto University

住所: Yoshida Honmachi, Sakyo-Ku, Kyoto, 606-8501, Japan

- 1) 留学先国・地域の公用語（中国語、ドイツ語、タイ語等）に関する公的な証明書や、当該公用語科目の履修歴と関連の成績証明書を提出可能な者は、併せて提出すること。

（協定校では、英語で提供される授業のみによって一般的に取得できる程度の単位数の取得が可能である。ゆえに、応募時点で留学先国・地域の公用語能力を有することは必要でないが、現地生活の便宜上、留学時点で少なくとも初級程度の能力を持つことが望ましい）

④ 指導教員等による推薦書（作成依頼のみ）

→今回は指導教員に推薦書の作成依頼のみしておいてください。教務掛から直接その教員に指定のフォーマットを送り、受け取りも当掛で行います。

⑤ 修士課程から本学に入学した学生は、学部1年次から卒業までの成績証明書

日英以外の言語で発行されている証明書については、和訳か英訳したものを添付すること。

※必要な応募書類の word 版は KULASIS 経済学研究科の部局ホームからダウンロード可能。

※上記書類は 本研究科 内選考のためのものであり、選考後、留学先大学側が指示した応募手続きをします。これについては、選考後、該当者に連絡します。

5. 選考方法

応募書類により 本研究科 で選考（必要に応じ面接）を行い、成績、語学力、留学理由および留学先での研究計画、推薦書、面接結果等を総合的に判断し決定します。面接を行う場合には、日時等は大学院掛より個別に通知します。本研究科 での選考（留学先大学への推薦者の決定）の結果は、2 か月以内に応募者に通知します。なお、志望大学側で改めて選考が行われることがあり、本選考の結果は、留学の最終的な可否を保証するものではありません。

6. 交換留学決定後の準備

経済学研究科での推薦が決定すると、大学院掛から協定校へ候補者を通知し、それから出願となります。出願手続きは協定校によって違い、学生本人が直接対応する場合もあるので、大学院掛または協定校からのメールは必ずチェックするようにしてください。

その後は、留学ビザの取得（国によっては保護者も大使館に行く必要がある）や現地での住居探し、海外滞在用の保険など、準備に時間が掛かるものが多いので、早くから取り掛かっておいてください。また、海外留学支援の奨学金等を希望する場合は、渡航の1年ほど前から情報収集に努め、手続きを始めないと間に合わない場合が多いので注意してください。

7. 留学プログラム修了の手続き

交換留学生は留学先大学でのプログラム修了後、所定の「交換留学報告書」を帰国したと確認できる日から1ヵ月以内に提出しなければいけません。この提出を以って帰国とみなし、交換留学プログラムが修了したこととなります。未提出者は、その他の手続きが受理されない場合があります。また、留学先大学発行の成績証明書も入手次第、大学院掛に提出することが義務付けられています。

留学先大学で取得した単位の互換認定申請を希望する場合は、交換留学報告書提出時に

その旨を申し出てください。手続きについての詳細は、交換留学先決定後または、単位互換認定申請時に通知します。

経済学研究科大学院掛

[交換留学対象交流協定校リスト 学部生] 派遣定員は学部/大学院を合わせた年度当たり人数

国・地域	協定校	留学期間	派遣人数	担当教員
中国	中国人民大学（経済学院） School of Economics, Renmin University of China	1 st semester: Sep.~Jan.2023 2 nd semester: Feb.~June	2	矢野 剛教授
中国	北京大学（経済学院・光華管理学院） School of Economics / Guanghua School of Management, Peking University	1 st semester: Aug.~Jan.2023 2 nd semester: Feb.~July 2023	2	劉 徳強教授
中国	南開大学（経済学院） School of Economics, Nankai University	1 st semester: Sep.~Jan.2023 2 nd semester: Feb.~June 2023	2	矢野 剛教授
台湾	国立台湾大学（社会科学院） College of Social Sciences, National Taiwan University	Fall semester: Sep.~Jan.2023 Spring semester: Feb.~June 2023	1	若林直樹教授
台湾	国立政治大学（社会科学院） The College of Social Sciences, National Chengchi University	Fall (1 st) semester: Sep.~Jan.2023 Spring (2 nd) semester: Feb.~June 2023	2	安井 大真 准教授
韓国	慶北大学校（経商大学） Kyungpook National University (College of Economics and Business Administration)	Fall semester: Sep.~Dec. Spring semester: Mar.~June 2023	2	アイビンス 准教授
タイ	チュラロンコーン大学（経済学部） Faculty of Economics, Chulalongkorn University	1 st semester Aug.~Dec. 2 nd semester Jan.~May 2023	1	久野秀二教授
タイ	チェンマイ大学（経済学部） Faculty of Economics, Chiang Mai University	Second semester: Nov.~Mar.2023 First semester: June~Oct.2023	1	久野秀二教授

タイ	タマサート大学 (経済学部) Faculty of Economics, Thammasat University	1 st semester Aug.~Dec. 2022 2 nd semester Jan.~June	1	久野秀二教授
タイ	タマサート大学 (地域研究研究所) Thammasat Institute of Area Studies,	1 st semester Aug.~Dec. 2022 2 nd semester Jan.~June	1	久野秀二教授
タイ	タマサート大学 (政治学部) Faculty of Political Science, Thammasat University	1 st semester Aug.~Dec. 2022 2 nd semester Jan.~June	1	久野秀二教授
インドネシア	ガジャマダ大学 (経済経営学部) Faculty of Economics and Business, Gadjah Mada University	Semester 1: Aug.~Dec. 2022 Semester 2: Feb.~June	1	久野秀二教授
フィリピン	フィリピン大学ロスバニョス校 University of the Philippines Los Baños	First semester: Aug.~Dec.2022 Second semester: Jan.~May	1	久野秀二教授
シンガポール	シンガポール・マネジメント大学 Singapore Management University	Term 1: Aug.~Dec.2022 Term 2: Jan.~May 2023	1	チョルバン教授
ドイツ	ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学 (経済学部) Faculty of Economics and Business Administration, Goethe University Frankfurt	Autumn semester (1): Oct.~Feb.2023 Spring semester (2): Apr.~Sep.2023	3	アイビンス 准教授
ドイツ	ハイデルベルク大学 (異文化研究センター及びグローバルな 文脈におけるアジア・ヨーロッパ 研究クラスター) Heidelberg University, The Heidelberg Centre For Transcultural Studies and Cluster of Excellence "Asia and Europe In A Global Context"	Winter semester: Oct.2022~Feb.2023 Summer semester: April ~ July 2023	学部・院 で2-3	アイビンス 准教授
オランダ	ワーヘニンゲン大学 Wageningen University	Period 1 to 3: Sep.2022~Feb.2023 Period 4 to 6: Feb.~Aug.2023	学部・院 で最大2	久野秀二教授

ベルギー	ルーヴェン・カトリック大学 (経済経営学部) Faculty of Economics and Business, KU Leuven	Fall semester: Sep.~Jan.2023 Spring semester: Feb.~June 2023	2	久野秀二教授
スウェーデン	ヨンショーピング大学 (国際ビジネススクール) Jönköping International Business School, Jönköping University	Autumn semester: Aug.~Dec. Spring semester: Feb.~June 2023	2	文 世一教授
スペイン	バルセロナ大学 University of Barcelona	First Term: Sep.2022~Jan.2023 Second Term: Feb.~ June 2023	3	アイビンス 准教授
英国	グラスゴー大学 社会科学系カレッジ、アダム・スミス・ビジネススクール University of Glasgow (School of Social and Political Science/Adam Smith Business School)	Semester 1: Sep.~Dec. Semester 2: Jan.~May 2023	1	黒澤隆文教授